



平成28年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年2月4日

上場取引所 東

上場会社名 伊藤ハム株式会社
コード番号 2284 URL <http://www.itoham.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 堀尾 守

問合せ先責任者 (役職名) 取締役専務執行役員管理本部長 (氏名) 石井 隆

TEL 0798-66-1231

四半期報告書提出予定日 平成28年2月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第3四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第3四半期	497,671	33.2	10,294	97.9	10,846	41.0	8,178	28.2
27年3月期第3四半期	373,766	3.9	5,202	△16.4	7,690	8.7	6,378	8.6

(注) 包括利益 28年3月期第3四半期 4,086百万円 (△62.7%) 27年3月期第3四半期 10,948百万円 (15.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
28年3月期第3四半期	40.05	40.00
27年3月期第3四半期	29.93	29.89

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第3四半期	270,171	136,645	48.0
27年3月期	260,000	134,294	48.6

(参考) 自己資本 28年3月期第3四半期 129,718百万円 27年3月期 126,258百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
27年3月期	—	—	—	8.00	8.00
28年3月期	—	—	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
通期	630,000	30.9	9,000	139.1	10,000	52.2	7,000	△39.3	34.28

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 有
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(2)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	28年3月期3Q	247,482,533 株	27年3月期	247,482,533 株
② 期末自己株式数	28年3月期3Q	43,234,129 株	27年3月期	43,307,452 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	28年3月期3Q	204,224,385 株	27年3月期3Q	213,144,914 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、リスクや不確実性が含まれております。実際の業績は、当社グループの事業を取り巻く経済情勢、市場の動向、為替レート、獣疫など様々な要因により、予想数値と大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項につきましては、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
(重要な後発事象)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	親会社株主に 帰属する 四半期純利益 (百万円)	1株当たり 四半期純利益 (円)
平成28年3月期第3四半期	497,671	10,294	10,846	8,178	40.05
平成27年3月期第3四半期	373,766	5,202	7,690	6,378	29.93
増減率	33.2%	97.9%	41.0%	28.2%	33.8%

当第3四半期連結累計期間(平成27年4月1日～12月31日)におけるわが国経済は、企業収益や雇用環境の好転を背景に緩やかな景気回復の動きが見られたものの、一方では中国の景気減速などにより先行きは依然として不透明な状況が続いております。

当業界におきましては、食料品等の日常生活品に対する低価格志向が続く中で、WHO傘下のIARC(国際がん研究機関)による発表をうけた消費者の買い控えの影響が歳暮商戦と重なり厳しい事業環境となりました。

このような状況の下、当社グループは、中期経営計画「CNV2015」の最終年度にあたり、これまで取り組んでまいりました施策にさらに磨きをかけ、企業ブランド・商品ブランドの価値を高め、コスト競争力を強化しナショナルブランドメーカーとしての地位向上に向けてグループ一丸となって取り組んでおります。

当第3四半期の連結業績につきましては、売上高は、ハム・ソーセージでは歳暮ギフトがIARCの発表の影響により減少いたしました、「The GRAND アルトバイエルン」や「朝のフレッシュシリーズ」等の主力商品が順調に推移したことや中食・外食向けの商品が大きく伸びた結果、前年同期に比べて3.3%増となりました。また、調理加工食品ほかにつきましても、ハンバーグ類、ピザ・スナック類が好調に推移し前年同期に比べて19.4%増となりました。食肉につきましては、アンズコフーズ社の連結による売上増加により前年同期に比べて50.7%増と大幅に増加した結果、売上高全体としては前年同期より1,239億5百万円増加して4,976億7千1百万円(前年同期比33.2%増)となりました。利益面につきましては、売上総利益は、ハム・ソーセージの売上回復、調理加工食品ほか及び食肉の売上増加に伴って前年同期に比べて108億1千2百万円増加して768億1千2百万円(前年同期比16.4%増)となりました。営業利益は、アンズコフーズ社の連結に伴い販売費及び一般管理費が増加したものの、前年同期に比べて50億9千2百万円増加して102億9千4百万円(前年同期比97.9%増)、経常利益は、前年同期に比べて31億5千5百万円増加して108億4千6百万円(前年同期比41.0%増)となりました。また親会社株主に帰属する四半期純利益につきましては、前年同期に比べて18億円増加して81億7千8百万円(前年同期比28.2%増)となりました。

報告セグメント別の内訳につきましては、加工食品事業本部は、ハム・ソーセージの売上回復等により売上高は135億9千9百万円増加して2,514億3千5百万円(前年同期比5.7%増)、営業利益は43億7千6百万円増加して59億6千8百万円(前年同期比274.8%増)と大幅な増益となりました。食肉事業本部は、売上高は1,159億1千9百万円増加して3,375億8千8百万円(前年同期比52.3%増)、営業利益は7億7千万円増加して44億2千9百万円(前年同期比21.1%増)の増益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

〔資産、負債及び純資産の状況〕

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べて101億7千万円増加し、2,701億7千1百万円となりました。これは主に、受取手形及び売掛金の増加とたな卸資産及び有形固定資産の減少等によるものであります。

負債は、前連結会計年度末に比べて78億2千万円増加し、1,335億2千6百万円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金、長期借入金の増加と短期借入金の減少等によるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べて23億5千万円増加し、1,366億4千5百万円となりました。これは主に、利益剰余金の増加と繰延ヘッジ損益及び為替換算調整勘定の減少等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年3月期の連結業績予想につきましては、平成27年11月6日に公表しました業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。）及び「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。）等を、第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更いたしました。また、第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更いたします。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第3四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

なお、当第3四半期連結累計期間において、四半期連結財務諸表に与える影響額はありません。

(税金費用の計算方法の変更)

税金費用の計算は、従来、四半期会計期間を含む年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて算定しておりましたが、第1四半期連結会計期間より、グループとしての税金費用をより適切に四半期連結財務諸表に反映するため、年度決算と同様の方法による税金費用の計算における簡便的な方法に変更しております。

なお、当該会計方針の変更による前第3四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であるため、遡及適用はしていません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	14,952	11,245
受取手形及び売掛金	61,827	88,646
有価証券	10	-
商品及び製品	50,388	46,519
仕掛品	448	216
原材料及び貯蔵品	15,207	14,348
その他	6,159	3,857
貸倒引当金	△38	△66
流動資産合計	148,956	164,767
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	27,255	24,590
機械装置及び運搬具(純額)	19,122	16,662
工具、器具及び備品(純額)	794	822
土地	20,264	19,120
リース資産(純額)	1,164	1,178
その他(純額)	1,094	1,163
有形固定資産合計	69,695	63,538
無形固定資産		
のれん	401	294
その他	1,345	1,560
無形固定資産合計	1,746	1,854
投資その他の資産		
投資有価証券	30,026	29,546
退職給付に係る資産	2,833	3,929
その他	6,923	6,717
貸倒引当金	△182	△182
投資その他の資産合計	39,601	40,010
固定資産合計	111,044	105,403
資産合計	260,000	270,171

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	39,356	50,695
短期借入金	22,385	7,482
1年内返済予定の長期借入金	5,661	5,854
未払法人税等	553	1,062
賞与引当金	2,628	2,296
その他	19,102	20,184
流動負債合計	89,687	87,577
固定負債		
社債	10,000	10,000
長期借入金	20,295	29,424
債務保証損失引当金	137	97
厚生年金基金解散損失引当金	468	160
退職給付に係る負債	1,458	1,469
資産除去債務	855	856
その他	2,803	3,939
固定負債合計	36,018	45,948
負債合計	125,705	133,526
純資産の部		
株主資本		
資本金	28,427	28,427
資本剰余金	30,045	30,042
利益剰余金	75,450	81,996
自己株式	△17,879	△17,849
株主資本合計	116,044	122,615
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	7,052	7,486
繰延ヘッジ損益	593	△756
為替換算調整勘定	2,424	170
退職給付に係る調整累計額	142	202
その他の包括利益累計額合計	10,214	7,103
新株予約権	88	101
非支配株主持分	7,948	6,824
純資産合計	134,294	136,645
負債純資産合計	260,000	270,171

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
売上高	373,766	497,671
売上原価	307,766	420,858
売上総利益	65,999	76,812
販売費及び一般管理費	60,797	66,517
営業利益	5,202	10,294
営業外収益		
受取利息	68	40
受取配当金	265	277
持分法による投資利益	1,806	544
受取賃貸料	370	387
その他	363	687
営業外収益合計	2,874	1,937
営業外費用		
支払利息	178	1,038
不動産賃貸費用	157	135
その他	49	210
営業外費用合計	385	1,385
経常利益	7,690	10,846
特別利益		
投資有価証券売却益	0	1,460
債務保証損失引当金戻入額	93	40
厚生年金基金解散損失引当金戻入額	132	307
その他	0	6
特別利益合計	227	1,815
特別損失		
固定資産売却損	233	1
固定資産除却損	235	52
その他	40	13
特別損失合計	509	67
税金等調整前四半期純利益	7,408	12,594
法人税、住民税及び事業税	-	1,886
法人税等調整額	-	2,068
法人税等	951	-
法人税等合計	951	3,955
四半期純利益	6,457	8,639
非支配株主に帰属する四半期純利益	78	460
親会社株主に帰属する四半期純利益	6,378	8,178

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位: 百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
四半期純利益	6,457	8,639
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,571	436
繰延ヘッジ損益	772	△1,709
為替換算調整勘定	216	△3,331
退職給付に係る調整額	415	59
持分法適用会社に対する持分相当額	1,514	△7
その他の包括利益合計	4,491	△4,552
四半期包括利益	10,948	4,086
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	10,866	5,067
非支配株主に係る四半期包括利益	81	△980

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合 計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	加工食品 事業本部	食 肉 事業本部	計				
売上高							
外部顧客への売上高	233,600	140,127	373,728	37	373,766	—	373,766
セグメント間の内部 売上高又は振替高	4,234	81,541	85,775	474	86,250	△86,250	—
計	237,835	221,669	459,504	511	460,016	△86,250	373,766
セグメント利益	1,592	3,658	5,251	49	5,300	△98	5,202

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、保険代理店業等であります。

2. セグメント利益の調整額は、たな卸資産の調整額等であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合 計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	加工食品 事業本部	食 肉 事業本部	計				
売上高							
外部顧客への売上高	246,552	250,589	497,142	529	497,671	—	497,671
セグメント間の内部 売上高又は振替高	4,882	86,998	91,881	486	92,368	△92,368	—
計	251,435	337,588	589,023	1,015	590,039	△92,368	497,671
セグメント利益	5,968	4,429	10,398	50	10,448	△154	10,294

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、保険代理店業等であります。

2. セグメント利益の調整額は、たな卸資産の調整額等であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

【関連情報】

1. 商品分類別の売上高

(単位：百万円)

	前第3四半期	当第3四半期	増 減	
	自平成26年4月1日 至平成26年12月31日	自平成27年4月1日 至平成27年12月31日		(%)
ハム・ソーセージ	96,019	99,214	3,194	3.3
食 肉	213,713	322,017	108,303	50.7
調理加工食品ほか	64,032	76,439	12,406	19.4
合 計	373,766	497,671	123,905	33.2

2. 地域別の売上高

(単位：百万円)

	前第3四半期	当第3四半期	増 減	
	自平成26年4月1日 至平成26年12月31日	自平成27年4月1日 至平成27年12月31日		(%)
日 本	—	406,862	—	—
ア ジ ア	—	22,118	—	—
北 米	—	28,802	—	—
オセアニア	—	18,528	—	—
欧 州	—	16,249	—	—
そ の 他	—	5,109	—	—
合 計	—	497,671	—	—

※前第3四半期連結累計期間については本邦の外部顧客への売上高が四半期連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(重要な後発事象)

平成28年1月26日に開催された当社及び米久株式会社の臨時株主総会において、株式移転の方法により平成28年4月1日をもって両社の完全親会社となる「伊藤ハム米久ホールディングス株式会社」を設立し、経営統合を行うことを内容とする「株式移転計画書」が承認されました。